

年報第 59 集では、2010 年度からの 3 年間のプロジェクト研究及びその後の研究会(ラウンドテーブル等)の成果を踏まえて標記のテーマで原稿を募集します。2014 年が「国連・持続可能な開発のための教育の 10 年(UNDESD)」最終年であることを受けて、「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」(2014.11/名古屋)をはじめとする総括会議が開かれました。社会教育の領域においても「ESD 推進のための公民館—CLC 国際会議」(2014.10/岡山)など、ESD をめぐって多くの実践・研究のとりまとめが進んでいます。持続可能な開発及び持続可能な社会のあり方をめぐる課題と可能性を社会教育研究の立場から問題提起する論集としたいと考えています。大まかな柱立てと各項目のキーワード等を応募の際の参考として下記に掲載します。

1. 社会教育としての ESD を捉える視点

ESD を巡る社会教育、開発教育、環境教育の接点/ESD を巡る知識論(リテラシー論、コンピテンシー論)/ESD のカリキュラム論/ESD と社会関係資本/ESD と社会的排除の問題、など

2. ESD を巡る社会的アクターの活動

ESD を支える地域の組織体制/ESD を進める高等教育機関の活動/ESD に関わる NPO、NGO の役割/ESD に関わる社会的企業の活動/地域における ESD の先進的な取り組み、など

3. ESD を推進するファシリテーターの役割

ESD を推進するコーディネーター、ファシリテーターの役割/ESD に関わるコーディネーター、ファシリテーターの養成/海外における ESD に関わるファシリテーターの活動と養成、など

4. ESD と社会教育のこれから

ポスト D-ESD を巡る展望/ESD と公民館(CLC)/社会的教育の再評価と可能性、など

執筆を希望する会員は、2015 年 2 月 16 日 17:00 までに、A4 用紙横書きで、<応募要旨>と<エントリーシート>をメール添付で送信してください。

<応募要旨>①論文題目、②要旨(章立てを除き 2,500 字以内、参考文献を示す場合はここに含める)、③章立て案。<エントリーシート>①論文題目、②名前、③連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)。

【応募要旨・エントリーシートの送信・送付先】*応募・エントリーは原則としてメールのみとします。

日本社会教育学会年報第 59 集編集委員会事務局(担当理事・朝岡)

送信先 = asaoka@cc.tuat.ac.jp (応募・エントリーを受付けた方には事務局より返信いたします)

メール等による送信が困難な方は、2015 年 2 月 16 日(必着)までに、A4 用紙横書きで、<応募要旨>と<エントリーシート>を各一部下記の宛先に郵便でお送りください。

〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8 東京農工大学農学部内 朝岡幸彦 宛

【採用の場合】3 月上旬に執筆要項をお送りいたします。

【原稿締め切り】2015 年 4 月 24 日(当日消印有効)

【字数・言語】原稿字数は 12,000 字以内(図・表を含む)。公募原稿は日本語のみとする。

*提出された要旨をもとに編集委員会にて審査を行い、執筆者の確定を行います。その際、公正を期すために、上記要旨において執筆者が特定できるような記載はしないでください。

*要旨が採択されても、完成原稿の査読結果によっては、修正を求められることや掲載されないこともあります。

*掲載後、ご要望があれば、査読証明書を発行します。